



2026年8月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年4月13日

上場会社名 A Rアドバンステクノロジー株式会社 上場取引所 東
コード番号 5578 URL <https://ari-jp.com/>
代表者 （役職名）代表取締役社長 （氏名）武内 寿憲
問合せ先責任者 （役職名）取締役執行役員 （氏名）竹内 康修 TEL 03 (6450) 6082
半期報告書提出予定日 2026年4月14日 配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：有（機関投資家及びアナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2026年8月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年9月1日～2026年2月28日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年8月期中間期	7,948	21.1	598	119.6	612	125.1	322	282.9
2025年8月期中間期	6,563	20.0	272	25.1	272	22.2	84	△37.5

（注）包括利益 2026年8月期中間期 321百万円（272.5％） 2025年8月期中間期 86百万円（△36.0％）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年8月期中間期	32.90	32.12
2025年8月期中間期	8.49	8.16

（注）当社は、2025年12月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり中間純利益及び潜在株式調整後1株当たり中間純利益を算定しております。

（2）連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	百万円	百万円	百万円	%
2026年8月期中間期	6,651	6,651	2,428	2,428	35.9
2025年8月期	6,762	6,762	2,169	2,169	31.4

（参考）自己資本 2026年8月期中間期 2,385百万円 2025年8月期 2,123百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年8月期	—	0.00	—	20.00	20.00
2026年8月期	—	0.00	—	—	—
2026年8月期（予想）	—	—	—	7.00	7.00

（注）1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無
2. 当社は、2025年12月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。2025年8月期については、当該株式分割前の実際の配当金の金額を記載しております。2026年8月期（予想）については、当該株式分割後の数値を記載しております。

3. 2026年8月期の連結業績予想（2025年9月1日～2026年8月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	16,433	16.1	1,166	40.6	1,194	53.5	728	63.5	74.24

（注）1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有
2. 当社は、2025年12月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。2026年8月期業績予想における1株当たり当期純利益については、当該株式分割後の数値を記載しております。

※ 注記事項

- (1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：無
- (2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
 - ② ①以外の会計方針の変更：無
 - ③ 会計上の見積りの変更：無
 - ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年8月期中間期	10,407,180株	2025年8月期	10,373,520株
② 期末自己株式数	2026年8月期中間期	600,381株	2025年8月期	600,381株
③ 期中平均株式数（中間期）	2026年8月期中間期	9,801,951株	2025年8月期中間期	9,922,169株

(注) 当社は、2025年12月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当中間決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	6
中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	9
(会計方針の変更に関する注記)	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等の注記)	9

1. 当中間決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当中間連結会計期間における我が国経済は、物価上昇の影響が一部にみられるものの、雇用・所得環境の改善や設備投資の持ち直しを背景に、緩やかな回復基調が継続しました。その一方で、物価動向や金融資本市場の変動、海外経済の不確実性については引き続き注視が必要な状況にあります。世界経済につきましては、通商政策の動向や地政学的リスクへの警戒感が残るものの、主要国においては概ね安定した成長が見込まれております。

以上の経済動向を背景に、日本国内ではデジタル化等を目的とした設備投資需要が堅調に推移しました。人手不足を背景に、生産性向上や業務効率化に向けた投資意欲は引き続き高く、生成AIの進展を受け、事業構造や業務プロセスの高度化を目的としたIT、DX及びAI分野への投資需要も拡大しております。クラウド基盤とAI技術を組み合わせたDXニーズは、今後も底堅く推移するものと見込まれます。

このような環境のもと、当社グループでは、クラウド及び生成AI領域を中心としたDX関連需要を着実に取り込み、付加価値の高い案件獲得に注力しました。顧客のDX構想段階から関与する案件や取引規模の大きい案件の受注が進展したことに加え、既存顧客への深耕営業と新規顧客の開拓を進めた結果、大口顧客との取引拡大が進み、売上高の増加に寄与しました。また、2024年11月にグループ入りした株式会社ピー・アール・オーを含め、グループ各社が有する技術や知見を活かした営業連携や案件対応が進展し、受注機会の拡大と業績成長を下支えしました。加えて、DX・AI領域を中心とした専門人材の採用及び教育施策を計画的に推進し、事業拡大に対応できる体制の強化に取り組んでおります。

これらの結果、売上成長に加え、収益性及び財務面の改善が進展しました。売上総利益率及び営業利益率の向上を背景に、主要な経営指標は改善しており、持続的な成長を支える財務基盤が一段と強化されています。当中間連結会計期間においても業績は堅調に推移し、グループ全体の成長を維持しました。

以上の結果、当中間連結会計期間の経営成績は、売上高7,948,344千円（前年同期比21.1%増）、売上総利益2,481,778千円（前年同期比47.0%増）、営業利益598,227千円（前年同期比119.6%増）、経常利益612,775千円（前年同期比125.1%増）、親会社株主に帰属する中間純利益322,493千円（前年同期比282.9%増）、EBITDA（営業利益＋減価償却費＋のれん償却額）は704,791千円（前年同期比103.4%増）となりました。

なお、当社グループは、DXソリューション事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

（2）財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

（資産）

当中間連結会計期間末における流動資産は5,000,977千円となり、前連結会計年度末に比べ22,220千円減少いたしました。これは主に売掛金及び契約資産が160,632千円、流動資産のその他が86,799千円それぞれ増加した一方で、現金及び預金が269,652千円減少したことによるものであります。

固定資産は1,650,069千円となり、前連結会計年度末に比べ89,674千円減少いたしました。これは主にのれんが39,084千円、繰延税金資産が60,292千円それぞれ減少したことによるものであります。

この結果、資産合計は6,651,046千円となり、前連結会計年度末に比べ111,894千円減少いたしました。

（負債）

当中間連結会計期間末における流動負債は3,803,006千円となり、前連結会計年度末に比べ272,679千円減少いたしました。これは主に短期借入金が140,000千円、賞与引当金が83,479千円、流動負債のその他が76,559千円それぞれ増加した一方で、買掛金が423,030千円、未払費用が54,587千円、未払法人税等が53,702千円それぞれ減少したことによるものであります。

固定負債は419,125千円となり、前連結会計年度末に比べ99,099千円減少いたしました。これは主に社債が10,000千円、長期借入金85,460千円それぞれ減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は4,222,132千円となり、前連結会計年度末に比べ371,779千円減少いたしました。

（純資産）

当中間連結会計期間末における純資産合計は2,428,914千円となり、前連結会計年度末に比べ259,884千円増加いたしました。これは主に配当金の支払により65,154千円減少した一方で、利益剰余金が親会社株主に帰属する中間純利益の計上により322,493千円増加したことによるものであります。

この結果、当中間連結会計期間末における自己資本比率は35.9%（前連結会計年度末は31.4%）となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ269,663千円減少し、2,632,403千円となりました。

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果使用した資金は179,779千円（前年同期は使用した資金22,277千円）となりました。これは主に税金等調整前中間純利益612,775千円があった一方で、売上債権の増加額160,632千円、仕入債務の減少額423,030千円、法人税等の支払額285,711千円によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は64,722千円（前年同期は使用した資金63,219千円）となりました。これは主に関係会社株式の売却による収入35,121千円があった一方で、有形固定資産の取得による支出57,326千円、無形固定資産の取得による支出48,569千円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は25,279千円（前年同期は使用した資金166,029千円）となりました。これは主に短期借入金の増加額140,000千円があった一方で、長期借入金の返済による支出93,908千円、配当金の支払額65,064千円によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年8月期の連結業績予想につきましては、2025年10月14日に公表しました通期の業績予想を修正しております。修正内容につきましては、本日公表しております「2026年8月期第2四半期（中間期）連結業績予想と実績との差異及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、当該業績予想につきましては、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年8月31日)	当中間連結会計期間 (2026年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,912,067	2,642,414
売掛金及び契約資産	2,015,202	2,175,834
その他	118,983	205,782
貸倒引当金	△23,054	△23,054
流動資産合計	5,023,198	5,000,977
固定資産		
有形固定資産	318,192	325,846
無形固定資産		
ソフトウェア	58,262	46,115
のれん	723,066	683,981
その他	156,052	198,961
無形固定資産合計	937,381	929,058
投資その他の資産		
投資有価証券	50,248	20,836
繰延税金資産	195,591	135,299
その他	255,553	256,991
貸倒引当金	△17,223	△17,963
投資その他の資産合計	484,169	395,163
固定資産合計	1,739,743	1,650,069
資産合計	6,762,941	6,651,046

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2025年8月31日)	当中間連結会計期間 (2026年2月28日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,104,621	681,591
短期借入金	940,000	1,080,000
1年内償還予定の社債	20,000	20,000
1年内返済予定の長期借入金	190,321	181,873
未払費用	858,577	803,990
未払法人税等	318,608	264,906
賞与引当金	67,545	151,024
役員賞与引当金	38,200	20,054
受注損失引当金	15,674	870
その他	522,136	598,695
流動負債合計	4,075,685	3,803,006
固定負債		
社債	30,000	20,000
長期借入金	351,128	265,668
長期未払金	22,102	18,083
退職給付に係る負債	91,228	91,947
資産除去債務	23,767	23,427
固定負債合計	518,225	419,125
負債合計	4,593,911	4,222,132
純資産の部		
株主資本		
資本金	141,717	143,563
資本剰余金	244,219	246,066
利益剰余金	2,046,296	2,303,636
自己株式	△308,248	△308,248
株主資本合計	2,123,985	2,385,018
新株予約権	—	0
非支配株主持分	45,044	43,895
純資産合計	2,169,029	2,428,914
負債純資産合計	6,762,941	6,651,046

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
(中間連結損益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年9月1日 至 2025年2月28日)	当中間連結会計期間 (自 2025年9月1日 至 2026年2月28日)
売上高	6,563,756	7,948,344
売上原価	4,875,139	5,466,566
売上総利益	1,688,616	2,481,778
販売費及び一般管理費	1,416,191	1,883,550
営業利益	272,425	598,227
営業外収益		
受取利息	1,007	2,206
持分法による投資利益	—	5,709
助成金収入	7,772	5,163
保険解約返戻金	13,812	8,008
その他	611	3,923
営業外収益合計	23,204	25,011
営業外費用		
支払利息	7,656	10,258
社債利息	8	106
持分法による投資損失	13,893	—
その他	1,898	99
営業外費用合計	23,456	10,463
経常利益	272,173	612,775
特別損失		
減損損失	19,637	—
本社移転費用	27,501	—
特別損失合計	47,139	—
税金等調整前中間純利益	225,034	612,775
法人税等	138,775	291,430
中間純利益	86,258	321,344
非支配株主に帰属する中間純利益又は非支配株主に 帰属する中間純損失(△)	2,029	△1,149
親会社株主に帰属する中間純利益	84,228	322,493

(中間連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年9月1日 至 2025年2月28日)	当中間連結会計期間 (自 2025年9月1日 至 2026年2月28日)
中間純利益	86,258	321,344
中間包括利益	86,258	321,344
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	84,228	322,493
非支配株主に係る中間包括利益	2,029	△1,149

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年9月1日 至 2025年2月28日)	当中間連結会計期間 (自 2025年9月1日 至 2026年2月28日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	225,034	612,775
減価償却費	51,831	67,479
減損損失	19,637	—
のれん償却額	22,205	39,084
貸倒引当金の増減額(△は減少)	405	739
受注損失引当金の増減額(△は減少)	—	△14,804
賞与引当金の増減額(△は減少)	64,105	83,479
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	5,277	△18,146
為替差損益(△は益)	100	△119
持分法による投資損益(△は益)	13,893	△5,709
支払利息	7,656	10,258
受取利息及び受取配当金	△1,007	△2,206
保険解約返戻金	△13,812	△8,008
売上債権の増減額(△は増加)	△305,728	△160,632
仕入債務の増減額(△は減少)	87,952	△423,030
その他	△163,725	△67,538
小計	13,826	113,620
利息及び配当金の受取額	1,007	2,195
利息の支払額	△7,566	△9,884
法人税等の支払額	△33,860	△285,711
法人税等の還付額	4,316	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	△22,277	△179,779
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	10,000	—
有形固定資産の取得による支出	△127,490	△57,326
無形固定資産の取得による支出	△16,442	△48,569
保険積立金の積立による支出	△1,295	—
保険積立金の解約による収入	29,580	8,008
敷金及び保証金の差入による支出	—	△1,958
敷金及び保証金の回収による収入	67,472	—
関係会社株式の売却による収入	—	35,121
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△25,123	—
その他	80	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△63,219	△64,722
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	190,266	140,000
長期借入金の返済による支出	△49,578	△93,908
社債の償還による支出	△6,000	△10,000
自己株式の取得による支出	△308,061	—
ストックオプションの行使による収入	7,343	3,693
配当金の支払額	—	△65,064
財務活動によるキャッシュ・フロー	△166,029	△25,279
現金及び現金同等物に係る換算差額	△100	119
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△251,627	△269,663
現金及び現金同等物の期首残高	2,329,879	2,902,067
現金及び現金同等物の中間期末残高	2,078,252	2,632,403

（4）中間連結財務諸表に関する注記事項

（連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更）

当中間連結会計期間において、持分法適用会社であった株式会社emotiveEの全株式を譲渡したことにより、持分法適用の範囲から除外しております。

（会計方針の変更に関する注記）

該当事項はありません。

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等の注記）

当社グループは、DXソリューション事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。